



学校教育目標

「志高く、学ぶ意欲と思いやりの心が充ちる生徒の育成
～夢の実現に、明るく、やさしく、誠実さをもって歩み続ける～」

理科実験教室と高校オープン・スクール

8月は、あっという間に終わってしまった感じがします。

私の中では、8月は“稼ぎ時”なので、会議や研修、学習会に出ることが多かったです。

（“稼ぎ時”とは浪人時代の業界用語で、他の人が休んでいる時に勉強すると、それだけ前進できるため、お盆や正月など、多くの方が休むであろう時期を指しています。）

皆さんの8月は、どんな8月だったでしょうか。

夏休みには、それぞれの高校が、自校の特色を知ってもらおうと、「オープン・ハイスクール」を実施しました。参加した生徒や保護者の方も多かったと思います。

説明会や体験授業、イベント、部活動見学など、一見、どこも同じ様に見えますが、高校によって運営方法や目的など随分違っています。

参加することで、その学校の生徒や先生の雰囲気や伝わったり、思っていたのとまったく違うイメージだったりすることもあります。

見た目や思い込みで選ぶのは後悔に繋がることもあります。新しいこと、知らないことに興味を持って行動することは本当に大切なことだと思います。

今年も有年中学校に近畿大学の先生にお越しいただいて、市内の中学生を対象に、「理科おもしろ実験教室」と題して理科の実験授業を開催していただきました。



「酵素の力でロケットが飛ぶ?」「オレンジや野菜ジュースから DNA を取り出してみよう」の2つのグループに別れて、実験しました。



「動けば変わる!」という言葉の通り、行動しなければ変化は起きないし、行動した人は、ますます行動しやすくなるといったことも解っています。皆さんには、是非、行動派の人になってほしいと思います。

有年地区音楽のつどい(8/25)



今年は3年生が合唱と合奏で参加しました。夏休み中も練習をして、どうにか発表に漕ぎ着けました。

特に、夏休み中の合奏練習は、高校の説明会や家の都などで全員が揃うことが難しい中での練習でした。うまく演奏できなかったところもありますが、皆さんに喜んでいただけたら、生徒達も励みになります。これからも生徒たちの成長を観に聴きに來てください。

学校は地域の明かり！

8月29日に学校運営協議会を開催しました。赤穂市が令和7年度に予定している、「学校の適正規模・適正配置」の検討に備えて、有年小学校・原小学校の両校長先生に加わっていただき、有年中学校の未来をよりよくしていくために、新たな協議会を設置しました。

有年地区にお住まいの皆様の意見をお聞きし、地域の発展と有年中学校の進むべき未来の姿を考える協議会です。

「教育を大切にしない国はやがて滅びる」とは、世の常識です。

私は、現在の有年地区から学校を無くすことには反対です。

日本では、聖徳太子の時代には学校のようなものが設置されていたように、教育の必要性を認め、国を挙げて取り組んでいました。

藩校だけでなく、寺子屋のように広く庶民にも学ぶための施設が全国に広がっていました。

村に学校があることはとても重要なことだとわかっていましたのです。

学校で学び、知識・技術（当時は読み・書き・そろばんと言われていましたが、その他にも多くのことを学んでいました）を身につけ、社会で活躍する人材を育てました。

学校とは地域の明かりそのものだったのです。

また、閑谷学校や水戸の弘道館、萩の明倫館のような大きな藩校は少なく、多くの藩校は少人数の学校であり、各地の寺子屋では少人数指導が一般的でした。

村に学校があることは、誇りであり、未来への投資で、子供や若者が学べる環境を整えることが、そのまま地域の発展に繋がるものだったのです。

「米百俵」～小林虎三郎のお話し～

江戸時代末期、長岡藩（新潟県長岡市）は戊辰戦争に敗れ、城下町は焼けてしまい、財政が立ちゆかなくなると藩士たちは食べ物も無い状態でした。

窮状を知った三根藩（今の新潟市）から米百俵が届けられました。

藩士たちが喜んだのもつかの間、藩の参事だった小林虎三郎は、

「百俵の米も、食えばたちまちなくなるが、教育にあてれば明日の一万、百万俵となる」

と言って、藩士たちの反対を押し切り、百俵の米を、学校を建てる資金にするため売ってしまいました。

そして創られた学校は、藩士だけでなく、町民や農民の子供の入学も許可されました。

「国が起こるのも、町が栄えるのも、ことごとく人にある。食えないからこそ、学校を建て、人物を養成するのだ」

その学校からは、東京帝国大学総長や医者や大臣、海軍の山本五十六など、日本を代表するたくさんの人物が育っていきました。

この話は、「米百俵の精神」や「長岡魂」と語り継がれています。

ちなみに、小林虎三郎は佐久間象山の門下生で、吉田虎二郎（吉田松陰）とともに、特に偉才の二人、「象門の二虎」と呼ばれています。

教育の大切さをあらかず、有名なお話です。

9月の行事予定

- 2日(月) 始業式
- 3日(火) 課題テスト
- 4日(水) 課題テスト、給食開始
- 5日(木) 身体測定(3年)
- 6日(金) 身体測定(2年)
- 9日(月) 身体測定(1年)
- 12日(木) ジュニア救急(2年)
- 14日(土) PTA 奉仕作業、三役会、理事会
- 16日(月) 敬老の日
- 19日(木) 自動車整備体験(2年)
- 20日(金) 小中連合音楽会【弁当】
- 21日(土) 市新人大会
- 22日(日) 秋分の日
- 23日(月) 振替休日
- 24日(火) トライやる・ウィーク指導ボランティア会議
- 25日(水) 交通安全キャンペーン
- 26日(木) 習熟度テスト(1・2年)
- 27日(金) 英語検定